

2007年12月14日
独立行政法人 理化学研究所

外村 彰 グループディレクターが日本学士院会員に

外村彰グループディレクター（フロンティア研究システム 単量子操作研究グループ、研究プライオリティー会議上席研究政策審議員 兼務）が、12日の日本学士院総会において、学術上の顕著な功績により新会員として選ばれました。外村グループディレクターは、電子線ホログラフィーを初めて実用化し、量子力学分野で論争的になっていた「アハラノフ・ボーム効果」を検証、力の統一理論の基礎を築きました。

ほかにも、野依良治理事長を始め、豊島久真男研究顧問、西澤潤一研究顧問、竹市雅俊センター長、伊藤正男特別顧問、石坂公成特別顧問などが、すでに日本学士院会員となっています。

< 参考：日本学士院のホームページ >

<http://www.japan-acad.go.jp/japanese/meibo.htm>

< 外村彰氏略歴 >

昭和40年3月 東京大学理学部物理学科卒業

昭和40年4月 株式会社 日立製作所 中央研究所入社

昭和50年3月 名古屋大学工学博士

平成2年8月 株式会社 日立製作所 基礎研究所 主管研究
長

平成5年10月 学習院大学理学博士

平成11年6月 株式会社 日立製作所 フェロー

平成12年5月 Foreign Associate of the National Academy of Sciences in the
United States

平成13年10月 理化学研究所フロンティア研究システム単量子操作研究グループ
グループディレクター兼任 ～現在に至る

平成14年4月 東京電機大学客員教授兼任（大学院理工学研究科）～現在に至る

平成17年4月 沖縄科学技術研究基盤整備機構沖縄新大学院大学先行的研究事業
電子線ホログラフィーユニット代表研究者兼任 ～現在に至る

平成17年10月 日本学術会議会員 ～現在に至る

